

地域ぐるみで子どもを育てる ～学校統合による校区再編に対応した持続可能なつながりづくり～



学校	学校運営協議会	地域学校協働活動推進員等数 (赤字は内学校運営協議会委員数)	地域学校協働本部
多可町立 八千代小学校	八千代小学校学校運営協議会 平成30年4月1日 設置	地域学校協働活動推進員 0名 0名 地域コーディネーター 4名 0名	多可町地域学校協働本部



取組の背景及び目標や目指す姿

背景

八千代小学校は、平成28年4月に3小学校が統合して誕生したが、更なる児童数減少で、指導者が確保できず、学校でのクラブ活動が難しくなった。しかし旧3小学校とも地域とのつながりが強く、地域住民が子どもの見守り活動を行うなど、地域で子どもを育てる素地や地域内に伝統文化を守る気運もあった。地域コーディネーターが中心となり学校運営協議会と地域活動をつなぎ、学校・家庭・地域の連携体制を構築することで、子ども達の活動を持続可能なものとし、伝統文化を守る意識醸成を行っている。

目標や目指す姿(学校)

思いやりの心を持ち 共に学び合い高め合う 八千代っ子の育成

目標や目指す姿(地域)

学校・家庭・地域の連携強化 地域ぐるみで子どもを育てる



八千代小学校学校運営協議会 の特徴

委員の立場や属性等

- | | |
|----------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 教員OB | <input type="checkbox"/> ふるさと創造大学代表 |
| <input type="checkbox"/> 役場職員OB | <input type="checkbox"/> 学校教職員 |
| <input type="checkbox"/> 区長経験者 | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> 老人クラブ代表 | など、計 15 名で構成 |
| <input type="checkbox"/> PTA、保護者 | 年間平均 3 回程度開催 |

効果的な運営の工夫

学校の課題である、学習支援活動や環境整備、地域交流活動としての鼓笛チームの継続などについて、学校運営協議会で議論し、地域住民が主体となって解決に向け取り組んでいる。

また、町の広報で具体的な活動の紹介、町議会との意見交換会を実施し、学校運営協議会について議会だよりで周知するなど、地域住民の参画意欲の高揚を図っている。これにより活動に参加した子どもたちの意欲的な姿と、地域住民が活躍する姿から、さらなる学校教育活動、地域活動の一体化に広がっている。



特徴的な取組と成果・効果

学校運営協議会

学校運営協議会では、教育活動の充実や学校・地域の課題解決、地域活性化等を協議している。学校統合と児童数減少により、従来は学校で実施していた「鼓笛」クラブの存続が難しい状況だった。一方、地域住民の間では存続を望む声が多く、鼓笛の活動を地域で実施する方針が協議された。



学校運営協議会の様子

地域学校協働活動

地域コーディネーターや地域住民等が指導者を地域から迎えて、学校と協力してクラブ員を募集し、活動継続に取り組んだ。鼓笛は50年以上校区で続く活動であったが、現在でも地域のイベントにも参加する、地域の特徴的な活動となっている。



ささゆり鼓笛チーム

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施」のための工夫等

【既存のネットワークの活用】

平成19年度から実施している放課後子ども広場(放課後の校庭における異年齢集団での安全・安心な群れ遊び)の地域コーディネーターに学校運営協議会で課題を共有し、鼓笛チームの活動につないだ。

【企画・調整】

地域コーディネーターが指導員の確保、クラブ員の募集から運営、活動に至る調整を担っている。また、活動が広まるよう様々な広報等支援活動を行っている。

取組

成果・効果

【地域学校協働活動を経験した児童、教員、指導員の意見】

- ・勉強を教えてもらえて嬉しい。聞きやすいし、先生みたいだから、分かりやすく楽しい(学習会参加児童)。
- ・学習支援等により、今まで以上に子どもたちへきめ細かに関わることができるようになった(学習会参加教員)。
- ・昔はお年寄りは何でも知っていると言われていたけど、今は反対に、子どもたちはいろいろな方法でたくさんの知識を得ている。こんな時代だからこそ、積極的に関わっていかなくてはいけない(学習会参加地域からの指導員)。

【成果】

- 地域住民の参画と協力により、年間を通して計画的に実施している(鼓笛チーム、交流会、学習会 等)。
- 学習ボランティアも含め継続して参加している指導者が多い。
- 参加する子ども達にとっても安心して過ごせる場であり、継続して参加している子どもも多く、さらに参加者が増えている。(鼓笛チームは、開始当初4～6年全97人中16人の参加であったが、練習を重ねるごとに25人になるなど、参加者が増加)

【効果】

- 指導者は高齢の方も多いが、子どもたちと関わることを「楽しみ」と言っていたりすることも多い。子どもたちと一緒にいる活動に継続的に参加することで、子どもたちの理解が深まっていく。
- 鼓笛チームなどで町内イベントに参加することで、地域との繋がりを実感する児童が増加し、地域活性化につながっている。